

裾野市議会議員

発行日 2023年7月19日



浅田もとゆき 議員活動報告

No.027

発行責任者:浅田基行 連絡先:トヨタ自動車東日本労組 総合センター支部内

1.令和5年度(2023年度)6月定例会

会期:6月8日(木)~6月23日(金) 16日間

上程された議案: 報告4件、条例3件、補正5件、その他14件 計26件

補正予算では、3億8,800万円追加し、予算総額 **206億2,900万円**となりました。

●主な事業

- | | |
|---|-----------------------------|
| ① 低所得世帯支援給付事業
令和5年度住民税非課税世帯 30千円/人 | 事業費:11,700千円 |
| ② 子育て世帯物価高騰対策等生活支援事業
高校生まで対象 10千円/人を給付 | 事業費:73,500千円 |
| ③ 児童福祉施設等補助給付費事業
幼稚園・保育園 給食費一部無償化 | 事業費:10,900千円 |
| ④ 体育施設管理事業
旧水泳場解体工事
運動公園野球場修繕改修工事 | 事業費:66,770千円
事業費:5,000千円 |
| ⑤ 公園管理事業
裾野駅西公園実施設計委託(トイレ含む)
(仮称)御師公園測量委託 | 事業費:6,071千円
事業費19,155千円 |
| ⑥ 学校再編
展望を示すため教育のあり方検討委員会の設置
医療的ケア児訪問看護委託 | 事業費1,723千円
事業費1,500千円 |
| ⑦ 6月1日~3日台風2号の豪雨被害
市道1-5号線復旧に向けた設計委託費用
予備費で対応した補充 | 事業費80,000千円
予備費11,000千円 |

●人事関連

- ⑧ 最高情報統括責任者補佐官(CIO補佐官)を設置
当市での実務に即した技術の導入等について助言及び提言を求めため
裾野市特別職の職員で非常勤扱いとする

市長	CIO(最高情報統括責任者)補佐官 効果的に施策を推進するため、外部人材を活用
副市長(CIO)	
デジタル部 業務改革課 情報システム課	職務内容 システム調達やセキュリティ対策など技術的な観点について、助言 職務形態 特別職非常勤職員

●国庫補助金(内示)

- | | |
|---|-----------|
| ⑨ 社会資本整備総合交付金事業 (道路など補修)
国庫補助事業費内示に伴う減額 (事業の見直し) | △33,210千円 |
| ⑩ 裾野駅周辺整備
国庫補助事業費内示に伴う減額(事業の見直し) | △84,500千円 |

トピックス

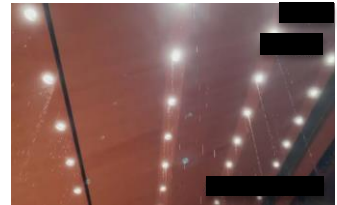
◎裾野市文化センター大ホールスプリンクラー事故最終報告

昨年9月に発生しました、スプリンクラー放水事故に関して昨年（令和4年）11月28日の第1回事故調査委員会から、今年（令和5年）6月19日の事故調査委員会まで12回に渡り検討されてきました。

点検業者への聞き取り調査、経過観察の漏水量調査、バルブの取り外し調査などの調査をしてきた結果、最終報告書では「本件事故の原因は特定できない。但し、本件事故が人為的な操作以外の原因で発生した可能性は排除できない」という結論となりました。

経過観察の漏水量調査では、漏水が認められたものの誤作動になるレベルに達していないという判断一方でメーカーによるバルブの取り外し（分解）調査では、バルブに傷があり漏水されるが、いつ傷がついたのか特定できないことなど総合的判断によるものです。

今後は、解決に向け、シンフォニエッタ静岡様への和解金の支払いに向けて協議を申し入れたい考えです。



スプリンクラー事故当時（昨年9月）

◎御師公園事業（須山地区）

令和5年度7月に用地測量業務（6月補正）の実施により本格的に事業を推進していき、10月に用地評価算定（9月補正）や用地補償買収費用算出・地主交渉の手続きなど防衛補助を受けながら計画的に進め令和9年度末完成を目指していきます。



御師公園イメージ図

◎子育て支援事業

①低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金支給事業

食費等の物価高騰に直面し、影響を受ける低所得の子育て世帯に対し、**対象児童 50 千円/人**を給付する

②子育て世帯物価高騰対策等生活支援特別給付金

①の受給対象者以外の**0～18 歳相当の児童**を持つ保護者を対象に**児童 10 千円/人**を給付する

③幼稚園・保育所（3～5 歳児）に通園する園児の給食費一部を無償化

市内保育園 326 人、こども園 237 人、認可外 26 人、幼稚園 168 人 合計 757 人（市外通園児 92 人含む）を

対象に給食費の一部無償化（月額上限 4500 円/人）を行う。対象期間 令和5年9月1日～令和6年2月28日

◎民間認定こども園が新設開園

令和6年4月1日開園予定で裾野市西地区石脇地先に新たな民間こども園が建設される。

利用定員 75 人（0～2 歳 27 人、3～5 歳 保育 33 人 教育 15 人）



富士山も見える建設予定地

◎子ども家庭総合支援拠点

通所・在宅支援を中心としたより専門的な相談対応や必要な調査、訪問等による継続的なソーシャルワーク業務まで行うため新たに

「子ども家庭総合支援拠点」を令和5年3月より開設

この度、5月10日に誰でも利用できる「親子交流スペース」を

一般開放を運用開始。一般公募（60件）で愛称も「すこっぷ」と決定



親子交流スペース